

平成28年度 決算報告

引続き健全財政を維持するも納付金の大幅増でやや悪化

平成28年度事業および収支決算報告が、7月13日(木)開催の第116回組合会において承認されました。以下に収支決算の概要をご報告します。
(本文中の決算額等は百万円未満四捨五入で表記しています)

平成28年度事業

疾病予防の充実と重症化予防の実施

平成28年度は、健保組合ごとに効果的・効率的な事業を行うデータヘルス計画の2年目となりました。1年間の実績を踏まえ、健診項目に腫瘍マーカー、ピロリ菌検査(ともにオプション)を新設するなど疾病予防事業を手厚くするとともに、生活習慣病の重症化予防対策にも力を入れて着手しました。

また、ジェネリック医薬品促進通知、メンタルヘルスカウンセリング、各種体育奨励事業などによる医療費節減、健康維持への取組みも引続き行っています。

※オプションのピロリ菌検査については、本誌14頁15ページに詳細を掲載していますのでご参照ください。

平成28年度収入支出決算

健康保険(一般勘定)

○収入総額	177億	400万円
○支出総額	172億9300万円	
○収支差引額(決算残金)	4億1100万円	

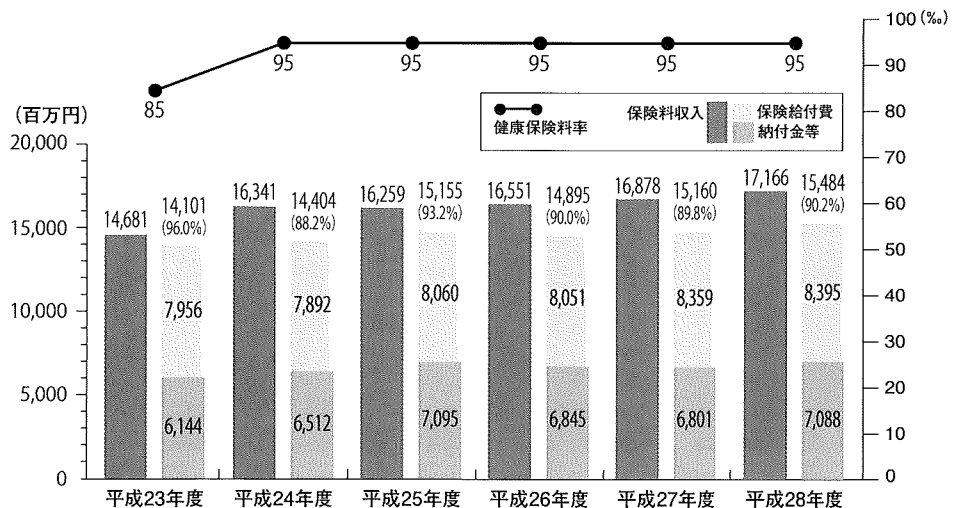
収入 被保険者数等の増加で安定財源を確保

平成28年度は、被保険者数が前年度決算比363名増の3万2230名、標準報酬月額が同比2024円増の37万8174円と順調に推移しました。95%で設定した健康保険料率で納めていただいた保険料は171億6600万円、被保険者数等の増加により同比2億8800万円の増額となりました。支出増(後述)があったものの、安定財源を確保できたため予算計上していた別途積立金の繰入れを回避できました。

支出 納付金が大幅増で健保財政を圧迫

高齢者の医療費負担のために当組合が拠出している納付金は、前年度決算比2億8700万円の大幅増になる70億8800万円となりました。保険料の増額分がそのまま納付金の増額にあてられた形になっています。みなさんの医療費等の保険給付費も、被保険者数増の影響により同比3700万円増の83億9500万円。保健事業費についても同比5400万円増の8億700万

図 保険料収入・保険給付費・納付金等の推移



*保険給付費・納付金の合計額の()内は保険料収入に対する割合。